すずかけ

十日町市立上野小学校
学校だより　No.5
令和7年7月24日

教育目標　学ぶ子　明るい子　やりぬく子

メールアドレス：tokamachi.ueno-es@edu-niigata.ed.jp
ホームページアドレス:https://www.schoolweb.ne.jp/tokamachi/ueno-e

学校ホームページ二次元コード

～１学期 75 日（１年生 74 日）終了　ありがとうございました～　　校　長　山田　直美

ゴリラの生態から、人類の起源、そこから引き出される現代社会の課題に詳しい京都大学名誉教授の山極壽一（やまぎわじゅいち）氏が次のように述べていました。

ゴリラには目の前で起こっていることにしか真実はありません。だから群れから離れてしまった個体は存在していないことと同じになります。つまり、ゴリラには、一緒にいることが仲間関係を持続するために必要なのです。

一方で、**人間は一緒にいなくても仲間関係を持続することができます。**共同体から離れて散らばったり、時を経て集まったりすることが普通にできるわけです。そして、**いないときも、その仲間のことを考えています。それが人間の社会力であり、ゴリラとの大きな違いです。**

人間が、何年間も会わなくても友達であり続けられるのは、**不在の間を想像する共感力を持っているからです。それが人間の強さでもあると思います。**

１学期間、46 名の上野小の子どもたちは、クラスで、またはクラスの枠を越えて多くの体験を積み重ねてきました。その体験を通して、子どもたち同士で、時には教職員も含めて「仲間関係」を作り出し、自分の中の「共感力」を育ててきました。１学期の体験を支えていただいた保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

明日からは 35 日間の長い夏休みです。目の前にクラスの人や担任がいない生活となります。しかし、山極氏の説によれば、人間は「一緒にいなくても仲間関係を維持」し、「いないときも、その仲間のことを考え」ることができます。１学期に育ててきた「仲間関係」を基にして、クラスの人や担任のことを想像し、学校で生活しているような思いで規則正しく、夏休みを過ごしてください。

８月 29 日の２学期始業式には、お互いが元気な姿を見せて、より強い「仲間関係」を作り出してくれることを楽しみにしています。

※　おまけ　校長のつぶやき（若気の失敗談より）

新採用の時の夏休み、10 日間程の出張研修（8 月 21 日～30 日）がありました。２学期の始業式に出張先で購入した名物のお菓子をクラスの児童全員に配りました。数日して、そのお菓子が原因で体調をくずした児童が出たというのを人づてに聞きました。今でいう軽い「食物アレルギー」だったようです。30 年以上前だったので「人づて」で終わりましたが、今であれば・・・です。当時の管理職からは「菓子で子どもたちへ伝えたい気持ちは分かる。配慮が欠けたな」といわれたこと今もでも覚えています。

かつて「お土産は無事故でいいの　お父さん」という交通安全スローガンがありました。出先、旅先から無事に帰って来てくれることが「物」より大切だ、という意味を「お土産」という言葉に含ませたものです。長期休業中に、さまざまな所にでかけ、普段できない体験をすることも多いと思われます。子どもたちから「〇〇さんにお土産を」なんて声が出るかもしれません。その気持ちはもちろん大切ですが、旅先で楽しかったことを話すことも立派な「お土産」だ、ということをお子さんにお話ししていただきたいです。校長の失敗談からの「お願い」でした。（価値観がゆれている昨今の状況をお含みいただければ幸いです）

安心・安全な夏を～PTA 救急法講習会（7/11）・着衣水泳体験（7/18）～

連日、暑い日が続いています。天候に恵まれ予定されていた水泳指導は順調に行うことができました。水泳指導にあたり水泳監視ボランティアにご協力いただいた皆様たいへんありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは、泳力を伸ばしていました。７月 28 日（月）からは、ＰＴＡの皆様による夏休みプール開放が行われます。この貴重な機会を利用してⅠ学期に培った泳力を更に伸ばしてほしいです。

さて、プール開放にあたって、救急法講習会を７月 11 日（金）の学習参観後に開催しました。当校の小関万琴養護教諭が講師となり、胸骨圧迫の手技・ＡＥＤの使用方法について、保護者の皆様と教職員が一緒に演習を行いました。

子どもたちは、７月 18 日（金）には、全校で着衣水泳を体験しました。「浮いて待つ」ことの大切さを映像で確認した後、プールに向かいました。服（体育着）を着て、水に入ると、普段の水泳授業と異なる感覚にとまどっていました。救助が来るまでの時間、できるだけ水を飲まない、慌てない姿勢「浮いて待つ」を練習しました。

この夏も水の事故の報道が聞かれます。ご家庭でも、地域でも、危ないところへ近づかないよう、声掛けをして安心で安全な夏を過ごしていただければありがたいです。

６年生　修学旅行　佐渡へ～７月３日・４日～

川西地区の小学校（上野・千手・橘）の６年生が連合での修学旅行にⅠ泊２日で出かけました。行き先は、昨年世界遺産に認定された佐渡島です。

到着した後の最初の活動は「たらい船」体験。船頭さんの巧みな操舵で、湾内の景色を楽しみました。子どもたちも漕ぎ手を体験しましたが、なかなかうまくいきません。プロの技に感心していました。続いて、西三川ゴールドパークで「砂金取り」を行いました。子どもたちも職員も緑のお盆に砂を乗せて、ていねいに揺すりながら砂と砂金をより分けていました。自分で獲得した砂金に子どもたちは満足していました。

二日目は、佐渡金山の見学からスタートです。金を掘り出した坑道跡を歩きながら、事前に学習していた内容と結びつけていました。旅行の最後の見学地は「トキの森公園」です。トキの保護についての活動、飼育している様子を間近で学ぶことができました。また、今回「トキの森公園」に向かう途中、野生のトキが飛んでいる姿を見ることができました。条件が揃わないと、飛んでいるトキを見ることができないそうです。子どもたちにとって貴重な体験になりました。

上野小の子どもたちのつながりを深めることはもちろん、他校の６年生とも交流する機会がもてたよい修学旅行となりました。

※8/8(金)～8/15(金)は平日ですが、閉庁日となり、学校を閉じます。その期間中に、緊急のご用にて学校へお電話をいただく際は、以下のようにお願いいたします。①でつながらなければ②へおかけください。

① ０７０－７４１４－５４９２　（学校の携帯電話）

② ７５７－３３３６　（十日町市教育委員会 学校教育課）